

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	市民活動情報サイト（まちづくりポータルサイト）の開設事業（主要事業）										
1-2 担当	部	市民生活部	課 又は施設	市民協働課	係	協働推進係		評価票作成者	課長補佐兼市民活動振興担当係長 浅田利一		
1-3 総合計画における施策の体系	①節	交流と市民参加 「市民と行政が尊重しあう協働のまちづくり」				③基本施策		市民参加・市民活動支援		コード	5-1-2
						④単位施策（中）		協働の担い手の支援		コード	5-1-2-3
	②項	参加と協働				⑤単位施策（小）		市民活動情報の発信		コード	5-1-2-3-2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市民活動団体および市民のインターネット利用者		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		協働のまちづくりの一環として、市民活動団体に関する情報収集・発信、各団体のネットワークづくりを推し進めることで、多様な協働の促進や市民活動を行いやすい環境整備、自主的な市民活動の促進を図る。					
1-5 事務事業の内容	平成18年度より「とよあけ市民活動情報サイト」を開設、情報サイト登録事務、登録団体からの情報収集を市が行い、サイト編集管理をNPOへ委託する。										

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
	平成18年度	実施初年度として団体情報のデータベースの整備、市内の市民活動団体の情報把握、収集した情報の公開の是非をまとめた。	協働のまちづくりの担い手としてNPO等が台頭してきており、活動情報の発信、団体相互の情報交流は市民活動の促進のために必要である。	団塊世代の退職など、市民活動、地域活動に関心を持った人材の増加が予想されることからニーズは高いと考えられる。
	平成19年度	内容の充実を図り、活動紹介、イベント情報、助成金情報など旬の情報を提供し、定期的な更新を心がけた。	〃	〃
	平成20年度	市民活動保険の適用を受けるためには、サイトの登録を必要とするとして、サイトの認知度を上げることができた。	〃	〃
	平成21年度	団体へサイト登録を薦め、登録団体数を増やすことに努めた。	〃	〃
	平成22年度	多種多様な事業を取組んでいる市民活動団体の活動内容やイベントを市のホームページに市民活動情報サイトを構築し、最新の情報を発信した。		
	平成23年度	市のホームページ市民協働課からアクセスできる「とよあけ市民活動情報サイト」について、登録されている市民活動団体の活動状況やイベントなど多種多様な情報を収集し、サイトを通じリアルタイムに情報発信した。		
	平成24年度	今年度も市のホームページ市民協働課からアクセスできる「とよあけ市民活動情報サイト」を構築し、リアルタイムで市民活動団体の活動状況やイベントなどの情報発信に努めた。		
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明					
	市民情報サイト登録団体数（団体）			80（団体）	110（団体）	当該年度の市民情報サイト登録団体数					

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績a（単位）	5,800（件）	6,765（件）	6,200（件）	4,400（件）	3,250（件）	3,486（件）	3,379（件）			
	直接事業費b（千円）	107	107	107	107	107	107	107			
	人件費c（千円）	384	384	384	384	372	360	360			
	合計コストd（b+c）（千円）	491	491	491	491	479	467	467			
	単位コストd/a（千円）	1アクセス当たり0.08	1アクセス当たり0.07	1アクセス当たり0.08	1アクセス当たり0.11	1アクセス当たり0.15	1アクセス当たり0.13	1アクセス当たり0.14	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明	→	活動実績 市民活動情報サイトの年間アクセス数（ユニークユーザー（サイトに一定期間内に訪れた人）数） 直接事業費 サイト管理運営委託料及びドメイン使用料の合計 人件費 3,000円×60日×2H=360千円
---------------------	---	--

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2－4 成果指標に 対応する実績と達 成度の推移	指標対応実 績（団体）	75	89	115	129	151	160	159			
	後期目標値 に対する達 成度（％）	68.2	80.9	104.5	117.2	137.3	145.5	144.5			

3 ■事務事業の自己評価結果

3－1 評価結果 (アウトカム自己分 析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度 担当課評価		A	A	A	A	A	A	A			

- 4段階評価結果
A：上位目的である施策に貢献しているので継続する
B：事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
C：縮小等、事務事業としての見直しが必要
D：事務事業の廃止が相当

● 判断の基準
①必要性（必要な事務事業であるか）
②公共性（公が実施する意味があるか）
③妥当性（ニーズに対して投入が適正か）
④効率性（結果に至る活動に無駄はないか）
⑤有効性（活動の結果が上位の目的に貢献しているか）
⑥市民満足度（事務事業が対象にしている市民を満足させているか）

		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
3－2 評価の内容	平成18年度	今後も市内のインターネット利用人口は増加することが考えられるため、サイトの周知を図り、アクセス数をアップさせる必要がある。	市内のより幅広い分野で活動する市民団体の登録を進めデータベースを増やすと同時に、市民にサイトの周知を図る。	運営開始から1年以上を経過し、多くの情報を蓄積し発信することができている。自主的に情報提供を行う団体も増えつつあり評価できる。
	平成19年度	〃	市民活動保険導入を機に市民活動団体登録を情報サイトに集約していくことに合わせ、本サイトを広く周知していく。	登録団体は増加しており、データベースとして充実してきた。今後は、継続的な団体からの情報提供が課題である。
	平成20年度	〃	さらなるアクセス数アップと継続的な団体からの情報提供のための方策を考えていく。	登録団体は後期目標を達成した。データベースとして充実してきた。今後は、継続的な団体からの情報提供が課題である。
	平成21年度	〃	〃	〃
	平成22年度	市民登録団体のデータベースを充実し、市民活動団体が相互のネットワークを活かしながら、より一層、情報交流を図り市民活動登録団体の増加に努めるとともに、市民登録団体の活性化を図っていくこととする。		
	平成23年度	引き続き、市民登録団体のデータベースを充実するとともに、団体同士の情報交流を図り市民活動登録団体の増加に努める。また市民登録団体の紹介や活動内容を広く市民に周知を図っていく。		
	平成24年度	今後も市民活動の登録団体における情報をデータベース化に努め、気軽にサイトを閲覧できるよう市民へ周知を図る。また、アクセス数の増加をするため、魅力ある登録団体の紹介や活動内容の充実を図る。		
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 ■事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
4－1 総合評価の 結果	平成18年度	A	継続して事業を進めること。
	平成19年度	A	サイトの周知活動や内容の魅力化を図り、積極的な情報発信のツールとして確立されるよう努め、アクセス数の増加に努めること。
	平成20年度	A	継続して事業を進めること。
	平成21年度	A	継続して事業を進めること。
	平成22年度	A	継続して事業を進めること。
	平成23年度	A	継続して事業を進めること。
	平成24年度	A	継続して事業を進めること。
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		